

令和6年9月6日

保護者様

菊川市立小笠南小学校長

令和6年度小笠南小学校教育の振り返り＜1学期＞について（お知らせ）

7月に実施した小笠南小学校学校評価アンケートへの御協力をありがとうございました。調査結果をまとめましたので報告いたします。

			過去3年での最高値	過去3年での最低値	5ポイント以上変動	
調査項目	対象	R5 2学期 肯定的%	R6 1学期 肯定的%	R6数値目標	前回との増減	
1 学校が楽しい	児童	96.1	93.7	95	-2.4	
	保護者	96	92.1		-3.9	
	教師	92.9	100		7.1	
2 みんなで何かをするのは楽しい	児童	98.5	98.4	90	-0.1	
	保護者	99	94.2		-4.8	
	教師	92.9	100		7.1	
3 授業に主体的に取り組んでいる	児童	96.2	92.1	95	-4.1	
	保護者	81.8	80.4		-1.4	
	教師	85.7	93.4		7.7	
4 授業がよく分かる	児童	96.9	89.8	90	-7.1	
	保護者	87.9	83.4		-4.5	
	教師	78.5	73.4		-5.1	
5 学校に、信頼することのできる先生がいる	児童	92.2	92.9	90	0.7	
	保護者	93.9	91.2		-2.7	
	教師	92.8	100		7.2	
6 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある（5・6年生のみ）	児童	89.9	92.3		2.4	
	保護者	62.6	50.1		-12.5	
	教師	64.2	60		-4.2	
7 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う	児童	90.7	88.2		-2.5	
	保護者	87.9	76.4		-11.5	
	教師	85.7	86.7		1	
8 授業では、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用したか	児童	99.3	70.1		-29.2	
	保護者	89.9	83.4		-6.5	
	教師	100	93.3		-6.7	
8① 授業中に自分で調べる場面で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使っているか（3年生以上）	児童	98.9	74.4		-24.5	
	保護者	-	-		-	
	教師	78.6	80		1.4	
8② 学校で、学級の友達と意見を交換する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っているか（3年生以上）	児童	98.9	48.8		-50.1	
	保護者	-	-		-	
	教師	78.6	66.7		-11.9	
8③ 学校で、自分の考えをまとめ、発表する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っているか（3年生以上）	児童	97.7	39.5		-58.2	
	保護者	-	-		-	
	教師	64.3	53.3		-11	
9 進んであいさつしようとしている	児童	94.6	92.9		-1.7	
	保護者	81.8	78.5		-3.3	
	教師	85.7	73.3		-12.4	
10 自分、学級、学校をよりよくしようと、進んで行動している	児童	94.6	89.8		-4.8	
	保護者	75.8	79.4		3.6	
	教師	78.6	86.7		8.1	
11 だれかの役に立とうとして行動している	児童	-	92.9		-	
	保護者	-	87.3		-	
	教師	-	80		-	
12 自分のよさに気付こうとしている	児童	-	81.9		-	
	保護者	-	82.3		-	
	教師	-	80		-	
13 自分の考えや立場を相手に分かるように話そうとしている	児童	93.1	93.7		0.6	
	保護者	77.8	80.4		2.6	
	教師	85.7	86.7		1	

	調査項目	対象	R5 2学期 肯定的%	R6 1学期 肯定的%	R6数値目標	前回との増減
14	相手の考えや立場を分かるまで聴こうとしている	児童	96.2	92.9		-3.3
		保護者	78.8	79.4		0.6
		教師	71.4	73.3		1.9
15	授業は、わかった楽しさや知る楽しさがある	児童	-	92.2		-
		保護者	-	93.2		-
		教師	-	93.3		-
16	授業で新しい発見や他の考えを新しく見つけようとしている	児童	-	97.7		-
		保護者	-	80.4		-
		教師	-	73.4		-
17	学んだことを理解して、場面に応じて使うことができている	児童	-	91.3		-
		保護者	-	82.4		-
		教師	-	60		-
18	困っていることに対して、自分で解決策を決定し、粘り強く解決しようとしている【自己決定力】	児童	-	90.7		-
		保護者	-	75.7		-
		教師	-	80		-
19	比較して考えたり、関連付けて考えて深い学びに向かったりしている【分析力】	児童	-	95.4		-
		保護者	-	61.4		-
		教師	-	53.3		-
20	相手の思いや考え・立場を受け入れ、自分の考えと練り合わせ、よりよくなるようにしたり、集団で目標に向けて高めていこうとしたりしている【人間関係形成能力】	児童	-	90.6		-
		保護者	-	84.3		-
		教師	-	66.6		-

※保護者、教師を対象とした調査項目の主語は、「子どもは」です。

<アンケート結果の分析・考察>

今年度重点的に育成を図っている資質・能力に係わる項目(数値目標を設定した項目)についての成果と課題は、次のとおりです。

1 学校が楽しい 93.7% → ▲目標未達成

子ども自身が「進歩している」「役立っている」と感じることで得られる「楽しさ」を創造していく必要があります。(過去3年での最低値)

2 みんなで何かをするのは楽しい 98.4% → ○目標達成

運動会という大きな学校行事があったことで、クラスの友達だけでなく、異学年を含めたみんなで、一つの目標に向かって頑張ることができた成果です。

3 授業に主体的に取り組んでいる 92.1% → ▲目標未達成

今年度、本校が研究している「知る楽しさ つながる楽しさ がある授業づくり」を進めていくことで、主体的に取り組む姿を目指します。(過去3年での最低値)

4 授業がよく分かる 89.8% → ▲目標未達成

目標値まであと少しでした。学力向上は、岳洋学園全体の課題です。日々の授業をより大切にして、学力向上に努めていきます。(過去3年での最低値)

5 学校に、信頼することのできる先生がいる 92.9% → ○目標達成

わずかですが、前回調査よりも数値が向上しました。引き続き、子どもたちにとって安心・安全な学校となるように学校職員一同で取り組んでいきます。

※自己決定力 90.7%、分析力 95.4%、人間関係形成能力 90.6% → ○高い水準

今年度、特に磨きたい資質・育みたい能力です。行事や学級活動などの一つ一つの教育活動の成果が表れているのだと思います。

今回の調査では、残念ながら前回よりも数値が低くなってしまった項目が多かったです。その現実をしっかりと受け止め、改善に向けた手立てをとっていく必要があります。しかし、ただ単に悲観的に受け止めるのではなく、そこには子どもたち自身の「これでは、まだ足りない」「もっとできるようになりたい」「僕、私はもっとできるはずだ」という思いがあるはずで、子どもたちのそのような思いに応えられるよう、教職員一丸となって日々の教育活動に取り組んでいきたいと思ひます。

<皆様からいただいた御意見より>

南っ子のグッジョブみつけ(よさや頑張り)をありがとうございました。どれも素敵なグッジョブばかりで、保護者の皆様がお子さんのよさや頑張りを十分に認め、褒めてくださっていることを有難く思います。また、南っ子の課題にも目を向けていただき、学校職員も改めて子どもたちに身に付けさせていくべきことを再認識することができました。
なお、保護者の皆様から寄せられたたくさんの御意見を、それぞれ3つに分類してみました。

○保護者の皆様を感じる南っ子のグッジョブ(よさや頑張り)

1. 良い人間関係を築けている 2. 学習意欲をもっている 3. 学校生活への適応力がある

▲保護者の皆様を感じる南っ子の課題

1. 社会性が乏しい 2. 学力が低い 3. 学校環境による弊害がある

これらのグッジョブや課題は、子どもたちがより良い人間関係を築き、学習や成長に取り組むための大切な要素です。これからの学校教育活動の中でも、子どもたちの課題を改善するとともに、グッジョブを大きく伸ばしていけるようにしていきたいと思ひます。

今後も教育目標「自信をもち 自分の力を発揮する子」の具現のため、精一杯努力してまいりますので、御理解・御協力のほど、よろしくお願ひいたします。